BUSINESS OVERVIEW

Wellnest ROOM

都市部での賃貸・集合住宅の設計・施工

CO_2を排出しない建物は、脱炭素化が進む日本においてその存在意義が増し、資産としての評価も上昇しています。エネルギーコストの低さは、入居者にとっても大きな魅力です。現在稼働中のウェルネストルームは満室が続き、入居者の満足度も高いため、長期入居が期待されています。賃貸住宅にも「高性能」が求められているのです。

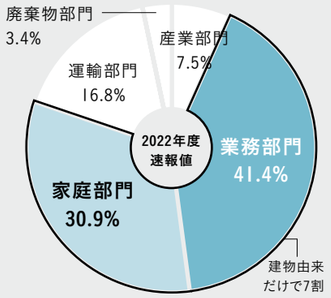
WEBSITE

OUR VISION

脱炭素を叶える快適な暮らしを、より多くの方へ

住宅のCO_2排出量はさらなる削減が必要

東京都のCO_2排出量は減少傾向にあるものの、家庭部門では2000年度比で約24.8%増加（2022年度速報値）。約7割が「電気」による排出であることから、再生可能エネルギーの活用は喫緊の課題です。



東京都内のCO_2排出量の部門別構成比（2024年環境局資料より）

脱炭素化が急速に進む集合住宅市場

新築集合住宅におけるZEHの普及率は、2021年度にはわずか7.4%ほどでしたが、2023年度には約47%にまで急増しています。脱炭素の流れは、賃貸住宅でも確実に歩みを進めています。

□＝省エネ基準適合　■＝ZEHレベル

戸建注文住宅

約60%	約40%

集合住宅

約53%	約47%

2023年度新築住宅のZEH普及状況（2024年経済産業省資料より）

欧米諸国では当たり前最低室温についての規制

欧米諸国では、「基本的人権」として室内の最低温度の基準や法律があります。例えばイギリスでは、室内が18℃未満になるアパートは法律違反となり、貸し出すことはできません。

戸建て住宅で培った性能技術を集合住宅にも広げたい

世界基準の高性能住宅を購入せず、「借りて」住めるのがウェルネストルームです。より多くの方に、暑さや寒さに悩まされない快適な暮らしを届けたい。その想いから集合住宅をつくりました。脱炭素の流れを受け、日本でも2025年4月から新築住宅に省エネ基準の適合が義務化されましたが、ウェルネストルームはその基準を上回る性能を備えた集合住宅です。

BENEFITS

ウェルネストルームを建てる4つのメリット

1 高い技術で今までにない快適と安全を

次世代水準の断熱機能を持ち、耐震等級は国内最高の「3」。快適で健康な暮らしと、100年先まで住み継ぐ耐久性を備えた賃貸住宅です。

2 AIによる自動制御でエネルギーをかしこく使う

AI自動制御システムが発電量などをリアルタイムに計測しながら、住宅内の設備を自動的に制御することで、消費電力を最適化します。

3 再生可能エネルギーと自動制御で得られる収益

電気使用料は家賃に含まれますが、再エネの活用により買電はごくわずか。支払う買電額と電気代相当額の差額はオーナー様の収益です。

4 リーシングも管理も賃貸運営をトータルでサポート

修繕などはこれまでのノウハウを生かし、入居者募集や管理は、協力企業と連携しながら賃貸運営をトータルでサポートします。